

S 1 淀川区のユニークな…

このコーナーでは、淀川区役所の特色ある取組をご紹介します。

5. 災害時医療救護活動協定についての覚書を締結！

今後 30 年以内に震度 6 弱以上の地震が 56%の確率で発生すると予測されており、淀川区内でも多大な被害が想定されています。

その時に備え、区内の避難所等での医療救護活動を円滑に実施ため、「災害時における医療救護に対する活動協定についての覚書」を淀川区医師会、淀川区歯科医師会及び淀川区薬剤師会と淀川区役所がそれぞれ締結し



ました。

2 月 6 日に、区役所で覚書の締結式を行い、淀川区医師会の石井会長、淀川区歯科医師会の森会長、淀川区薬剤師会の増井会長、淀川区長が出席し、覚書に調印しました。

阪神淡路大震災をはじめとする震災の経験をふまえ、今後起こりうる災害に備えて、淀川区内における発災時の医療救護体制を構築していくことを確認しました。



6. 情報モラルをテーマに人権学習講座を開催！

2 月 8 日に「『スマホ時代』を生きる子どもたちのために」と題し、人権学習講座を開催いたしました。講師の方は、文部科学省や総務省で、子どもとネット問題についての委員を歴任し、NHK「視点・論点」「クローズアップ現代」等にも出演されたことがある、兵庫県立大学の竹内和雄准教授。

毎日新聞に「竹内先生の新教育論～スマホっ子の風景」も連載されておられるので、ご存知の方も多いのではないでしょうか。

先生は、講演の中でネットを検索し、自分の個人情報公開しているブログ等の危険性や、昔起こったネットいじめが削除されずに今も同じように公開され続けていること、などの様々な問題をわかりやすく説明してくださり、我々大人たちが知らない間にネット上で展開されている子どもたちの世界を知ることが出来ました。

所々で場内の笑いを誘う話があり、楽しい講演への感想は大好評ばかりでした。

情報モラルについては、30 年度も取り組みますので今回受講された方も含め、皆様よろしく願いいたします。



(講座当日の様子)

7. 女子車いすバスケット日本代表選手が田川小学校に来了！

「2018 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会」の開催に先立ち、2月14日に「地域親善交流会」が開催され、女子日本代表チームの選手ら7名が田川小学校を訪問。

参加した6年生57名と保護者や地域の方々は、初めて体験する車いすバスケットに興味津々。

代表選手の熱心な指導の下、子ども達は競技用車いすの操作やシュートを体験。その後の日本代表とのミニゲームでは、選手の華麗なドリ



ブルに翻弄されながらも、さすが6年生！3ゴールをゲット。続く保護者・地域・先生の混合チームと代表選手とのゲームでは、大きな声で代表選手を応援していました。また、翌日に大阪府中央体育館で開催された「大阪大会」には、手作りの横断幕を持って6年生全員で駆け付け、熱い声援を送りました。

貴重な体験を通じて、障がいのある方や障がい者スポーツについての理解が深まったのではないのでしょうか。

8. 宮原地域防災訓練が開催されました！

2月25日に、三国本町公園で宮原地域防災訓練が実施され、住みます芸人の「職人」のお二人にも参加いただきました。

山本区長の挨拶の後、松阪会長お手製の「舞台」に立った職人さんから漫才を披露していただきました。お二人から「リヤカーの上での漫才は初めて」に参加者からは笑いが！！



その後の訓練には、地域の参加者に混じって、職人のお二人も参加。消防署員の指導のもと、バケツリレー訓練や実際に消火器を使った消火訓練、水道局による応急給水訓練の給水体験などに真剣に取り組んでいました。

今回初めて地域の防災訓練に参加したお二人は「災害に備えることの大事さがわかりましたし、地域の方々に温かく接していただき、とてもうれしかったです」と話してくれました。